

令和6年度入学者選抜試験問題（後期日程）
（地域学部地域学科人間形成コース）
「総合問題」出題意図

問題Ⅰ

問題文は、鳥飼玖美子著『英語教育論争から考える』（みすず書房、2014年）からの抜粋である。これからのグローバル社会を生きていくために必要な資質・能力・考え方が新聞記事の具体例とともに述べられている。相手に配慮し、多様な意見を尊重し、自らの考えを論理的に主張することは、受験者が人間形成コースで主体性と協働性をもって学ぶために必要である。また、今後の教育現場で必要な教師と児童生徒との関係や、教科指導のあるべき姿について深く考えることができる力を問うている。

問1

本文の重要なキーワードの具体的内容について、本文の様々な箇所から関係ある部分を抜き出す思考力と、それを適切に整理して論述する理論的表現力をみる。

問2

本文内の新聞記事の内容を元に、なぜ記載されている教師の行動が問題なのかを筆者のこれまでの主張から理解し説明する思考力と、これからの日本の教育にとって必要な教師と児童生徒の関係や教科指導などに関する自分の考えを明確に表現できる力をみる。

問題Ⅱ

近年の小中学生の児童生徒数、不登校者数、家庭環境などに関するグラフを読み、グラフから情報を読み取る力およびそれぞれのデータ間にある関連に関して仮説を生成する力を問う問題。与えられた情報を既存の知識と照らしながら思考力と判断力を用いて考えを表現する技能、および主体的・協働的に学ぶ力をみる。

問1

グラフから正確に情報を読み取る技能と、情報を適切に取捨選択して表現する判断力をみる。

問2

示されたデータをもとに思考力や発想力を用いて仮説を生成する技能とともに、既存の知識を活用しつつ合理的に論を展開する判断力をみる。